

第14回新潟いのちの物語をつむぐ会・上越柿崎例会

テーマ： 人生100年時代を生きる覚悟と心得

～ 未来へつなぐ《介護（者）カフェ》～

お寺 de 語ろう



◇ **2025年 5月24日（土）14時**（受付13時30分）

◇ **会場：浄福寺**（電話 025-536-2532）

〒949-3216 上越市柿崎区柿崎 6654 （JR柿崎駅から徒歩10分）

○第1部：話題提供：認知症ケアの最前線
～今こそお寺と農園の出番～ 宇良千秋さん
（東京都健康長寿研究所研究員心理学博士）

○第2部 介護者カフェ
輪になって語りましょう！

自身の体験、自分の想いや覚悟を！

◇参加費 1,000 円（会員 500 円）

申込み先 浄福寺

電話 025-536-2532

FAX 025-536-2674

メール jofukuji@alpha.ocn.ne.jp

◇懇親的交流会 会費 5,000 円（要事前申込）

会場：岩野屋旅館（柿崎駅前）

宿希望者：5,000 円（一泊朝食付）

【ごあいさつ】 新潟いのちの物語をつむぐ会は、誰の身の上にもある生老病死について、市民、医療・福祉関係者と宗教者が一堂に集い、フラットな関係で意見交換を行い、学び合い、これら（生老病死）を自然の営みとして穏やかに受け入れる心の醸成と、いのちの尊厳についてのより深い理解を共有し「いのちの物語」をつむぐことを目的としています。



年二回の例会では、参加者一人一人が自分の体験や考えを自身の言葉で披露し紡ぎ学びあいます。話を聴くだけの会ではありません。

今回のテーマは「介護」です。介護をしたりされたりしている現在進行形の方や 看取りをされて過去完了の方も、必ずや自分自身の身の上にも訪れる未来の課題が「介護」です。

一緒に、輪になって語り合しましょう。

第14回実行委員長 小出優子(世話人代表/市民)

宇良千秋（URA CHIAKI）さん・プロフィール

沖縄県出身。主な専門領域は、認知症ケア、老年心理学。
日本認知症ケア学会の代議員、日本老年社会学会の
査読委員などを兼任。

人生100年時代における認知症との共生社会モデルを構築するため、
「認知症高齢者におけるケアファームの効果」、「農園を活用した
認知症診断後支援」、「認知症ケアにおける信仰・宗教の役割」などの
研究に取り組んでいる。

https://researchmap.jp/ura_chiaki



事務局より

- ◆新規会員募集しています。
入会金：1,000円(学生無料) 年会費：2,000円(学生500円)
- ◆会員の年会費納入について
2025年度分 年会費2000円(学生500円)
*同封の振込用紙にてご入金ください。
または、下記の郵便局口座にお振り込みください。
口座記号 00560-5 口座番号 103074
加入者名 新潟いのちの物語をつむぐ会

新潟いのちの物語をつむぐ会 《事務局》

〒940-0075 長岡市渡里町 1-2
長永寺内
電話 0258-33-0504
MAIL: info@tyouei-ji.com

◆新潟いのちの物語をつむぐ会は、ホームページ及び フェイスブックを活用しています。のぞいてみて下さい。

申込書 (FAX 025-536-2674)

お名前					会員/学生	500 円	一般	1000 円
ご住所	〒 -							
電 話								
入会希望	あり	入会希望の方は○をつけて下さい。詳細はご案内します。						